

福祉のまちづくりのための施設整備
バリアフリーガイドライン《案》の概要

- **施設のバリアフリー設計、維持管理時の配慮事項や好事例等をまとめた設計者や事業者向けの指針**として、平成28年にバリアフリーガイドラインを策定 《 現行ガイドライン名称 『大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン』 》
- 府域全域でのより高い水準でのバリアフリー化を目的として、**大阪・関西万博での先導的な基準や取組の反映など内容を充実化**するとともに、名称を変更し、**『福祉のまちづくりのための施設整備バリアフリーガイドライン』**として令和8年3月に改訂・公表

ガイドライン【本編】 記載充実

大阪府福祉のまちづくり条例の理念や趣旨のほか、整備が望ましいバリアフリー基準を建築物の部位ごとに解説

《改訂のポイント》 大阪・関西万博での基準、取組の反映

- 障がい当事者等が参画した現地検証等を経て、先導的な基準や取組をガイドラインに反映

トイレに求められる機能や仕様をより具体化・明確化

- フラッシュライトの設置位置
- 大人用介護ベッドの大きさ・表示
- オールジェンダートイレ(男女共用トイレ)など、多様なニーズに応じた配置計画
- わかりやすいピクトグラム 等



カムダウン・クールダウン

- 必要な機能や仕様の具体化・明確化



視覚障がい者の案内誘導

- IT技術を活用した案内アプリの事例を追加



《改訂のポイント》 よりわかりやすい構成へと見直し

- 設計者等の声を踏まえ、推奨基準と義務基準、解説等が一目でわかる構成に見直し。併せて、推奨基準→義務基準に記載順を変更

ガイドライン【別冊①】 追加

設計・計画段階で障がい当事者等の意見を積極的に取り入れ、反映した取組の事例を紹介

《改訂のポイント》 当事者参画の取組事例を集約・追加

- 当事者参画の取組事例
 - ・【万博】 大阪ヘルスケアパビリオン
 - ・【万博】 日本館
 - ・関西国際空港
 - ・堺市
 - ・豊中市 等



大阪ヘルスケアパビリオンにおけるワークショップの様子

ガイドライン【別冊②】 追加

物販・飲食・サービス店舗で取り組むことが望ましいバリアフリー改修のポイントやソフト対応等を紹介

《改訂のポイント》 既存店舗でのバリアフリー対応を促進

- 多くの方が日常的に利用する小規模店舗を対象に、特に取り組んでいただきたいバリアフリー対応をわかりやすく整理

ソフト対応の例



持ち運び可能な可搬型スロープ



点字メニューの常備



筆談による対話